

神奈川県作業療法士会平成16年度第5回理事会議事録

日時：平成16年11月16日 18時50分～21時40分	場 所：神奈川県OT士会事務所
出席者：長谷川 清水 錠内 浅井 田中(秀) 鈴木 三川 浅海 黒木 松本 長谷 田中(節) 佐藤 理事外：作田 岩野 奥原 池田 澤口 山田 庭田 野本	
議 題	内 容
1.長谷川会長挨拶 2.事務所に関して (錠内事務局長)	今年最後の理事会です。来年につなげられる理事会にしていきましょう。 ・事務局業務の説明と送りため、本日山田事務局員も出席。 ・ ホワイトボード、コピー機、掛け時計などは県立大から寄付。 ・ 事務所の業務内容について提案 対応：月火水金 9:00～16:00 これ以外の時間帯は留守電対応とする。 郵便物の收受：事務局移転については、県士会ニュースなど様々な配布物にて会員へ広報する。各関連団体へも事務所移転を連絡する。 三役会、理事会準備：会場セッティング、お弁当準備など 公文書管理（11月中は野本、12月から事務所にて作成、発送） データベースの管理：会員情報の管理に関しては、情報統計部と財務の意見を参考に今後検討する。次回理事会にて、大竹理事の意見をお願いしたい。 入退会の届出：事務所にて一括管理とする。 <主な質疑内容> 浅海：研修会等の申し込み先は事務所宛にしてはどうか？ （PT士会は on ラインか往復はがきを使っている） 錠内：学術部では現在どうか？ 三川：Y M C A 奥原さんが対応しているが大変だと思う。 年間300～500通くらいの葉書が来る 黒木：今年度の福祉用具検討委員関連の研修会は定員割れだったので大丈夫だったが、選考を要することもあるので、その場合は事務所だけでは難しいのでは。 清水：全ての研修会を事務所で受けるのは大変だと思う。 会員が全員受けるようなもの（新人教育等）に限定してはどうか。 三川：財務、情報統計の機能が移管されたのなら、申し込み者の年会費支払いのチェックもできる。 会長：先々はそういった機能も持たせたいと思っている。 錠内：当面は事務局員の業務量を見極める期間と位置づけ、各部と事務局員の申し合わせにより進めていくということにしてはどうか。あまりにも大変であれば、また検討することとしたい。 会長：事務所開設の設備投資についての現状の予算執行はどなっているのか？ 長谷：今年度の予算を考えると、現状で事務員が1名で事務所開設も予定より遅いので予算内の執行であり、まだ若干の余裕がある。よって、事務所開設に伴う設備投資については今年度中をお願いしたい。

錠内：今後購入予定として、ビデオ、DVD、テレビ（研修会用）を考えている。コーヒーメーカーなど余っていたらいただきたい。冷蔵庫も考えている。現在、事務所立ち上げに180万（350万の予算）ほどかかっている。
三川：コピー機の購入、レンタルはどうか？または印刷機は？学部や広報部では大量印刷することが多い。学部では職場の恩恵に甘えて印刷している場合もある。

清水：研修会用のプロジェクターは？

浅海：本棚が足りないのでは？ e t c .

錠内：冷蔵庫と研修会用のプロジェクターについては予算内で可能であれば購入したい。コピー機（印刷機）については、予算規模が違うので今後どうしても必要な時期がきたら、総会にて年間予算により会員の審議を経てから決定してはどうか。その他、小予算の備品については予算内で購入していきたい。

理事会決議にて決定

その他 清水：本棚など県の不必要品が年度末処分にて手に入るかも？

錠内：過去の資料などは三役会で判断し処分していく。

3. 平成17年度定期総会に関して
(錠内事務局長)

錠内：開催は4月24日。場所は県立大。時間は例年だと15:30~17:00
学会開催時間の中に入れてほしいという意見もある(人数確保のため)

松本：議案書(案)は2月10日頃までに作業所に届かないと予定通りは発送できない。

錠内：各理事は担当の「活動報告」と「次年度活動方針(案)」を来年1月18日の理事会までに議案書の原案を完成させ、事務局へ送信する。

佐藤：決算はいつまで？

錠内：2月28日付で決算をしてほしい。

長谷：すでに事業が終わっているところは早めに会計報告をしてほしい。

こまめにチェックしたほうが、最終的な財務の業務負担にならず済む。

錠内：来年度に向けての検討事項として、4半期くらいで会計を締めたらどうか。

4. 広報部報告(岩野
野対外広報班長)

・1万人健康ウオーク無事終了。20~30名がブースを訪れた。

・推進月間補正予算(70,000円)の審議。

理由：施設見学会における、見学者のボランティア保険の加入料と来年度につなげるための会議をもう一回開催したい。

<主な質疑>

田中(節)：なぜ県士会で見学者に保険料をだすのか？根拠を明確にしないといけない。

錠内：昨年度、見学受け入れ施設より、ボランティア保険の加入の提案を受けた。県士会の企画であり県士会で責任を持つということで以前理事会承認されている。

理事会決議として補正予算70000円承認される

<p>5.福祉用具検討委員報告(黒木理事)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シーティング講習会は予算をオーバーした。これは、実習指導講師が増え、支出が5万円増えた。 ・パワーリハ講習会は申し込みがやや少ない ・講習会参加費に関しての基準はあるか？講習会の金額の算出法を検討してほしい。 <p>三川：新人教育は1講座1000円。1講座90分なので1日と換算すると4000円。</p> <p>浅海：PT士会では1ポイント1000円の換算。</p> <p>錠内：理事会決定はしない。OT協会を基準とするが、目安として1ポイント=1000円でどうか？</p> <p>理事会決定はされず。目安を基準に今後要検討。</p>
<p>6.教育部報告(三川理事)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新人教育症例報告の座長に対する公文書、ポイントシール発行、謝金に関して検討してほしい。 <p>浅海：OT学会での座長ではポイントはつかないですね。</p> <p>鈴木：学会に準じるならポイントはつけられない。</p> <p>認定OTの社会貢献としてならポイントも可か？</p> <p>浅海：謝金かポイントかどちらかで。</p> <p>佐藤：座長は何人ですか？</p> <p>三川：今年度はのべ10名ですので、45000円。来年からはさらに発表コマ数が増えることが確実に予想されるため座長はこれだけにとどまらない。症例報告の座長はどちらかというと助言者的な役割であろう。</p> <p>清水：座長と助言者ではいみが違うが、今後座長が増えることを考えれば、また事前準備の苦勞もあるので、座長確保のためにも謝金は設けるべきではないか。</p> <p>浅海：ポイントは他県士会の動向をみたらどうか。</p> <p>鈴木：協会がなぜ座長にポイントを発行しないかを確認してみたらどうか。</p> <p>会長：今回の座長には公文書をとっておいてもらい、ポイントに関しては様子をみましょう。</p> <p>理事会決議として、謝金は4500円で承認される。また、ポイントについては見送りとする。</p> <p>その他 ・新人教育の参加率は3割欠席でした。</p>
<p>7.地域リハビリテーション対策部(浅海理事)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問リハ研修の初級は人数集まっている。 ・PT、OT合同研究会の申し込み宛を事務としたい。
<p>8.事務局 Web 担当報告(作田事務局員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各部で必要であれば、HP上での専用アドレスの発行が可能である。現在が、學術部と福利部に発行している。 ・理事専用ページにアクセスするパスワードの取り扱いに注意してほしい。また、メーリングリストはその性格上、個人のアドレスでお願いしたい。複数人で閲覧するような職場のアドレス等では注意してほしい。

<p>9.神奈川県医療専門職連合会主催、公開セミナーに関して（鈴木理事）</p>	<p>日時：11月27日（土）横浜リハビリテーション専門学校 参加費無料 テーマ：医療環境をとりまく常識非常識 最近の判例の傾向を学べる 各団体が多数参加予定、OT士会からも是非参加してほしい</p>
<p>10.教育システム推進委員報告（奥原委員）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協会として手帳移行を100%目指している。 ・各理事も会員に手帳の移行を勧めてほしい。 ・4000から8000番くらいの会員の動きが悪い。 ・協会としては県士会で現職者研修を行ってほしい。 未実施県がほとんど。関東甲信越地区合同で行う（来年は長野）。 ・移行率などが協会から発表されるのでぜひ勧めてください。
<p>11.次年度組織編制に関して（浅井理事）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・役員改選があります。 ・選挙管理委員から公示 会員が立候補 ない場合は理事会で推薦（それを浅井先生が調整） ・だいたい2月ごろに立候補、推薦者決めているが… 理事の中で次期は無理という方がおられれば、年内にその旨を知らせてほしい。 ・改選のたびに保険部の設置が議論された。今までは理事が確保できずなかったが、来年度はできないだろうか。 錠内：表彰委員会が必要と思われる。 県士会に表彰を受けるに値する方は大勢いるが推薦できずにいる。 鈴木：叙勲をうけることも先々あると考えて作ったほうがよいのでは。 錠内：組織の見直しなどは企画調整委員に年内に相談し、次回3役会、理事会で検討決定していく。
<p>12.事務所開きに関して（錠内事務局長）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所移転については、次号県士会ニュースで会員へのお知らせを掲載する。 ・その後、公文書にて各関係団体に周知する。 ・事務所開きを年内に開催したい。次回理事会でさらに検討していく。
<p>13.その他</p>	<p>新潟震災義捐金は県士会として5万円を支援する。 新封筒決定 パステルオレンジです。 事務所かぎ管理に関して 山田、錠内、清水、長谷川、YMCAが所持。 ・YMCAは事務所から近いということで緊急処置の場所として所持する。 会議などの事務所使用については次回理事会に、ルール(案)を錠内が提案する。</p> <p style="text-align: center;"> 次回三役会 1月11日（火曜） 次回理事会 1月18日（火曜） </p> <p style="text-align: right;">以上</p>

報告者：野本義則 書記：庭田夢香 文責：錠内広之